

2022年3月期第2四半期

決算概況



東証JASDAQ (スタンダード)
証券コード 9696

1. 事業概要

2. 第2四半期トピックス

3. 第2四半期業績

4. 株主還元

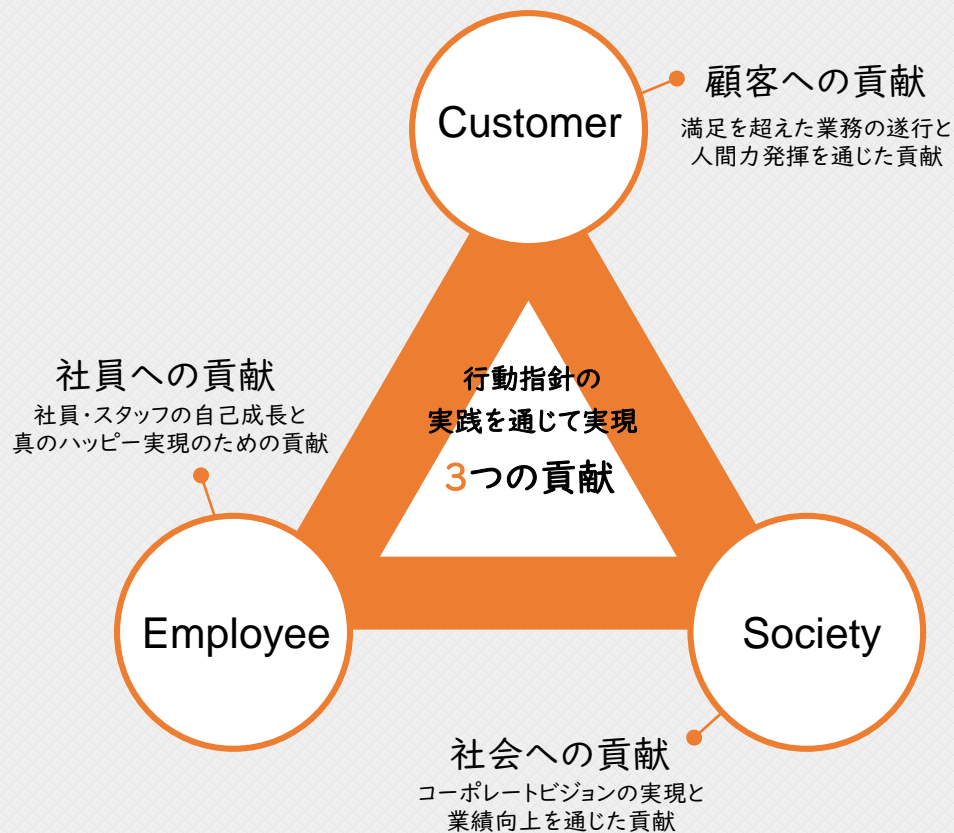
5. 補足資料

コーポレートビジョン

“社会で活躍できる人づくり”を実現できる最高の教育機関を目指す

経営理念「3つの貢献」

当社は、社員・スタッフの自己成長支援と短期的な各種の目標達成は当然のこととして、教育分野を中心に、社会の進歩と発展、とりわけ「教育は人の幸せに寄与すべき」を第一義とし、社員・スタッフ・会社がー丸となり、「3つの貢献」の実現を目指すことを明確にするため、理念として設定しています。



私たちは、

ウィザス独自の「プラスサイクル学習法※」の実践を通じ、生徒の「自他肯定感」向上を育むために、一人ひとりの生徒の状況や個性を尊重し、生徒自身が自分を意欲喚起でき、自己成長し続ける力を養える教育をめざして参ります。

代表取締役社長 生駒 富男



※プラスサイクル学習法(P. 21 ご参照)

ウィザスグループは、学習塾事業、高校・キャリア支援事業、その他（ICT教育・能力開発事業、企業内研修ポータルサイト事業、ランゲージサービス事業、幼児・学童英語事業、ヘルスケア事業、アンガーマネジメントの企業研修事業、就労移行支援事業）など多様な教育ニーズに対応した幅広い分野での総合教育サービスを提供しております。

◆ 学習塾事業



幼児から高校生までを対象とする教科学習指導・進学受験指導ならびに能力開発指導と独自の「プラスサイクル学習法」を用いた学力指導を行う「学習塾事業」

(株)ウィザス、(株)フォレスト、(株)佑学社、(株)学習受験社、京大ゼミナール久保塾(株)等

2021年3月期実績

売上高 **6,546** 百万円

営業利益 **462** 百万円

◆ 高校・キャリア支援事業



広域通信制単位制高等学校の運営や、中学生等を対象とするICTを活用した学校外での学習機会の提供、社会人（高卒以上）を対象とした各種資格・スキル等取得に向けた支援、海外からの留学生を対象にした日本語教育サービス等

(株)ウィザス、(株)グローバルウィザス、(株)ウィザスグローバルソリューションズ

2021年3月期実績

売上高 **6,875** 百万円

営業利益 **2,230** 百万円

◆ その他



WEB上での速読を主体とする各種教育サービス、ICTソリューションサービスを提供するICT教育・能力開発事業、企業向け社員教育コンテンツの開発・販売を行う企業内研修ポータルサイト事業、ランゲージサービス事業、幼児・学童英語事業、ヘルスケア事業、アンガーマネジメントの企業研修事業、就労移行支援事業等

(株)ウィザス、(株)SRJ、(株)レビックグローバル、(株)吉香、(株)ウィザスイーライフ、アンガーマネジメント(株)、(株)ライラ等

2021年3月期実績

売上高 **2,855** 百万円

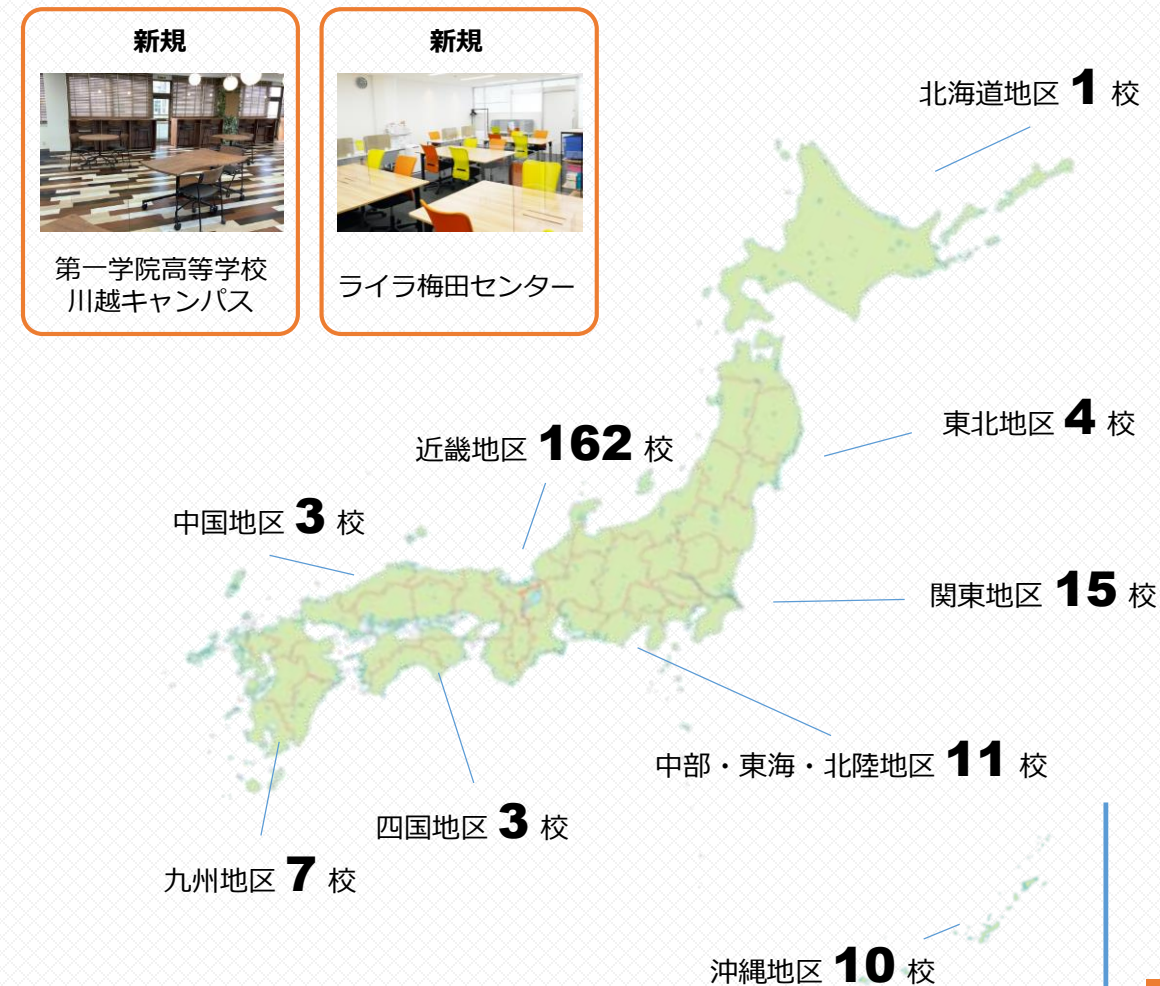
営業利益 **△1** 百万円

1. 事業概要 事業領域/校舎展開

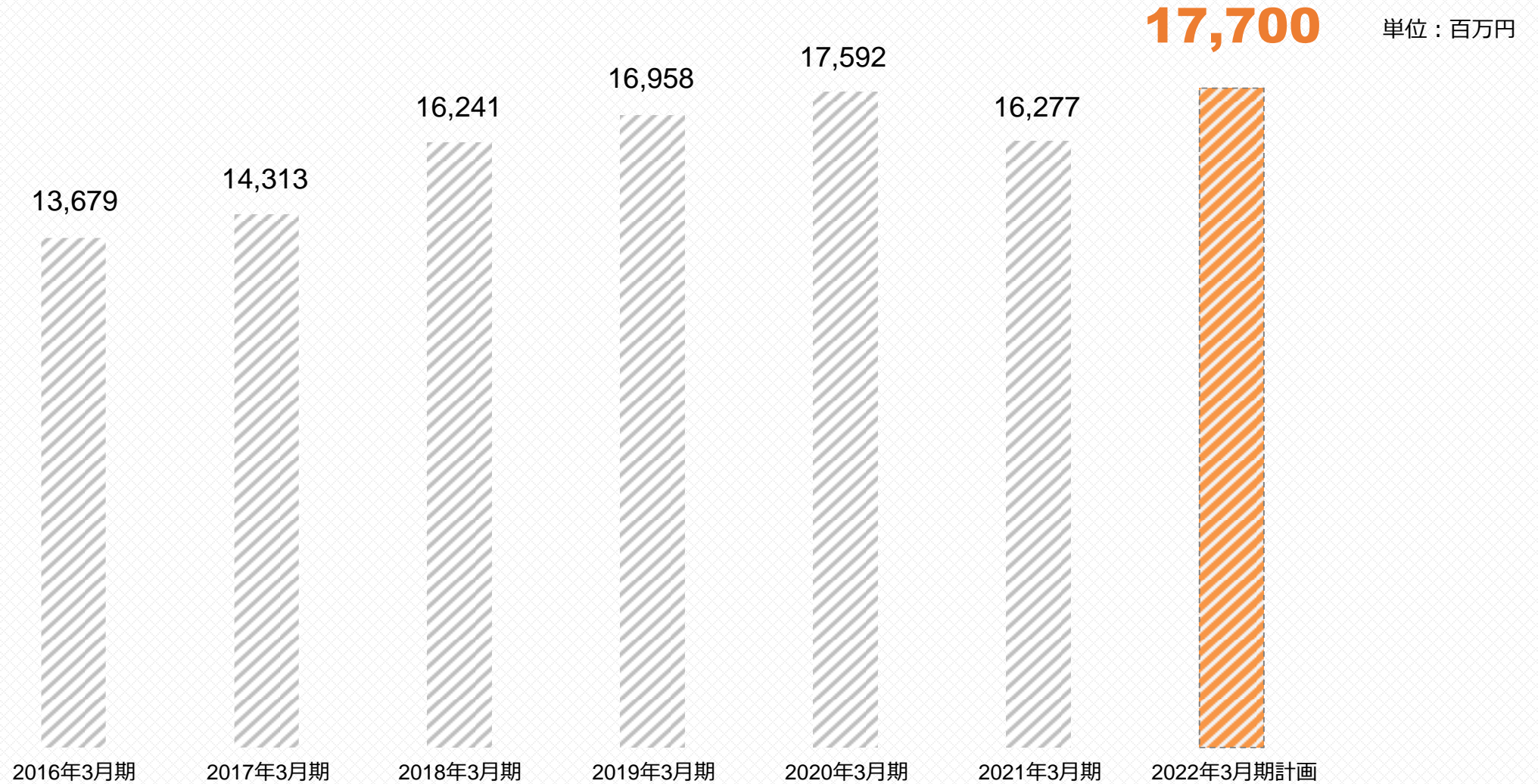
学齢、学習形態ごとのブランド展開のほか、多様化する学びのニーズに対応するため、事業領域を拡張しております。
 学習塾「第一ゼミナール」、通信制高校「第一学院高等学校」を中心に全国200拠点以上で教育サービスを提供しております。

セグメント	ブランド名	幼児	小学生	中学生	高校生	大学	社会人等
学習塾	第一ゼミナール Daichi Seminar		←→				
	ファロス個別学院		←→				
	第一ゼミパシード		←→				
	大学受験 SUR合格指導会			←→			
	MedSUR				←→		
	GAZ ガゼット	←→					
	佑学社・大阪教育		←→				
	国語学習会		←→				
高校・キャリア支援	京大ゼミナール 久保塾		←→				
	第一学院 中等部			←→			
	第一学院高等学校				←→		
	第一学院高等学校 専攻科					←→	
	第一学院オンラインカレッジ					←→	
	ic NAGOYA (日本語学校)					←→	
	Genki (日本語学校)					←→	
With-us Global Solutions (日本語講師養成)					←→		
その他	Blue Dolphins SRJ REVIC GLOBAL 株式会社リビックグローバル						幼児・学童英語、ICT教育・能力開発、ランゲージサービス、ヘルスケア、企業内研修ポータルサイト、アンガーマネジメントの企業研修、就労移行支援、広告等
	KIKKO 株式会社ブリーズ e-life						

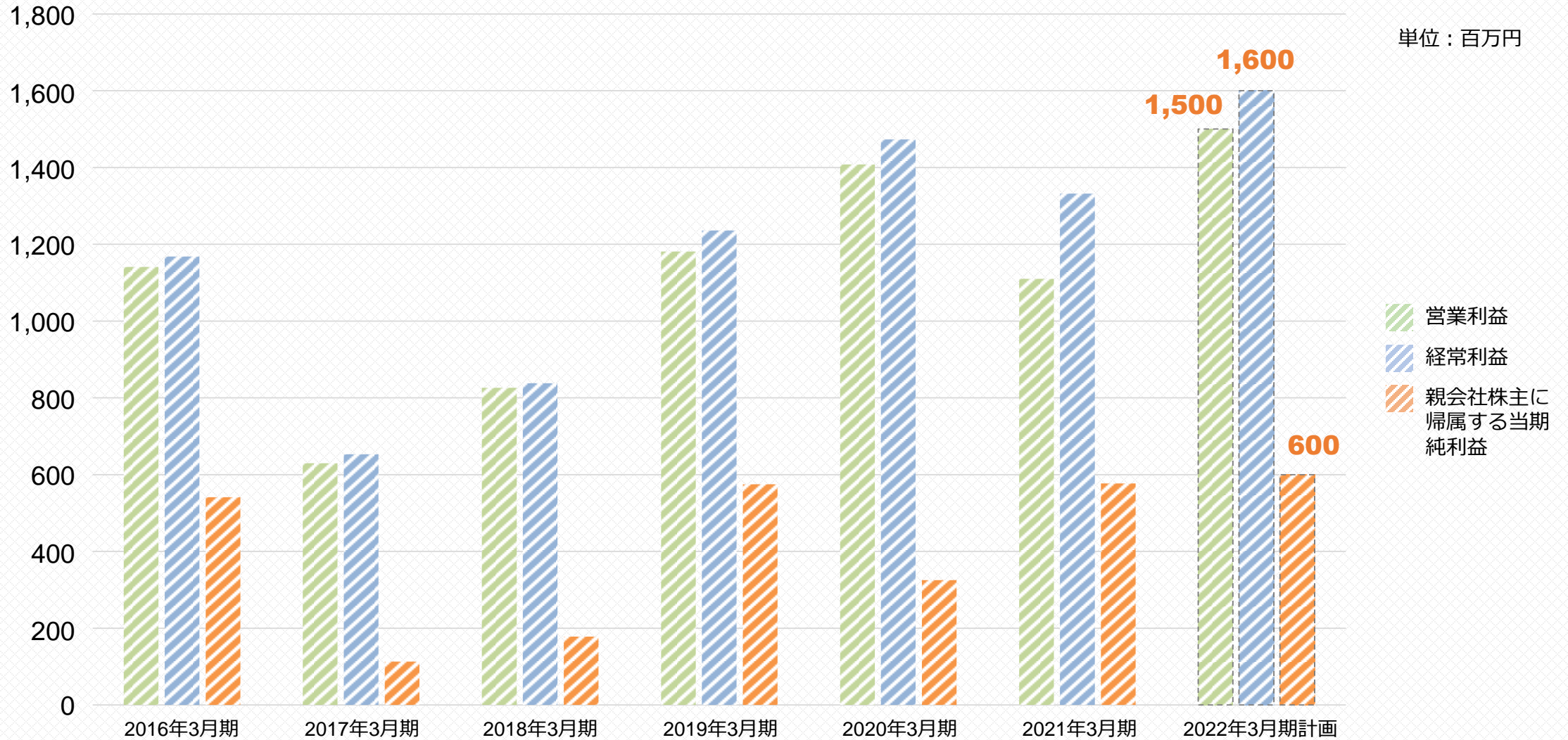
全国 **216** 校 (連結：2021年9月末現在)



前期はコロナ禍による影響を受けたものの、堅調に成長を続けております。



環境変化への迅速な対応により、安定した利益を確保しております。



環境変化を追い風に、事業成長を続け、企業価値の向上を目指してまいります。

更なる成長に向けた経営方針

1. 顧客満足度の向上
2. 生涯学習化に伴う支援領域の拡大
3. オンライン・場・人の融合によるサービス品質の更なる向上
4. グループシナジーの最大化

当社を取り巻く環境

- 少子高齢化・人生100年時代とも言われる長寿社会
- 労働人口の減少
- 生涯に亘る教育・学び直しの機会提供の必要性
- 外国人・シニア・女性の活躍の場の増大
- GIGAスクール構想によるデジタル化の加速
- 言語活動や外国語教育の必要性の高まり
- 学習指導要領の改訂

1. 事業概要
- 2. 第2四半期トピックス**
3. 第2四半期業績
4. 株主還元
5. 補足資料

オンラインライブによる新しい形の授業を展開しています

コロナ禍により人との接触を避けざるを得ない中、オンライン授業は安全・安心を確保する手段として定着しました。現在では、時間と場所に捉われないオンラインの強みを活かし、より積極的に活用を進めております。

EdTechの活用

集団形成の最適化と学習効果の最大化

校舎の枠を越えたオンラインクラスを編成、母集団形成の最適化を行い、一層の意欲喚起と成績向上に努めております。

普段とは異なる環境の中で、より他者と切磋琢磨できる関係性を強化し、EdTech（教育とテクノロジーの融合）の活用を組み合わせることで、集団クラスにおいても個別最適化を推進しております。



オンライン保護者参観

保護者の理解を深め、提供プログラムへの安心・期待感を高める

保護者の不安解消ならびに意見収集による更なるサービス品質の向上を目的に、オンラインによる保護者参観を実施しました。参観後のアンケートでは保護者の3分の2が授業満足度において最高評価、「満足」以上は85%と前向きな意見が多数を占めました。

今後も生徒・保護者・教員一体となった取り組みを推し進め、新たな価値提供に繋げてまいります。

<保護者の声>

- オンラインならではのツールを活かして、授業中はノートを取ることに時間を費やさずに済むなどの利点も実感できました。
- 声も聞き取りやすく、子ども達への呼びかけや掛け合いもあり、すごくいい授業でした。オンラインでも、意欲を引き出す熱心な指導で安心しました。
- 英語と数学を参観させていただきました。オンライン形式でも、スムーズに授業が行われていて驚きました。
- タブレットだと一堂に生徒の回答中の様子が伺え、合理的だと感じました。

増加する小中学生の不登校、早期支援の重要性が高まっています

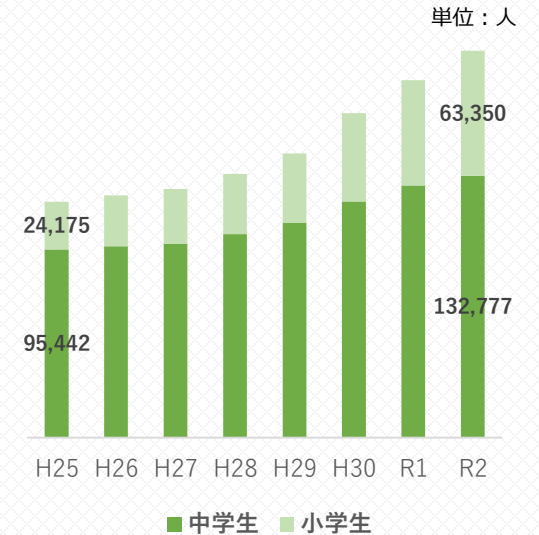
不登校児童生徒数推移※

統計開始以降過去最多、低学齢化が進む

不登校の小中学生は平成25年度から8年連続で増加し、平成3年度の統計開始以降過去最多となりました。不登校の要因・背景は複合化・多様化の傾向にあり、特定できないことも多くあります。複合的な要因が絡み合った現象であるからこそ、一人ひとりに応じた多様な支援の在り方が一層必要になると考えております。

※ 不登校の定義：病気や経済的事情など以外の理由で、年間30日以上学校へ行かない状態。

※ グラフ出典：文科省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」、文科省「学校基本調査」



第一学院中等部の取組

可能性をひろげる一人ひとりに寄り添う学び

第一学院中等部では増加する中学不登校生との接点をもつ機会を早めることで、一人ひとりの将来への可能性をひろげる役割を担っています。状況に合わせた学びの機会を提供し、第一学院高等学校との連携により多様な進路を提案、生徒・保護者の心情や価値観に寄り添いながら支援を行います。

ICTを活用したオンライン中心のプログラムにより、時間や場所を選ばずに、個々人の状況に応じた最適な学びの機会を提供し、成長を支援しております。



株式会社ライラを設立、就労移行支援事業に参入しました

日本の障害者総数は約964万人、この内18歳から64歳の在宅者数が約377万人※いると言われています。しかしながら、障害福祉サービス利用者数は37.5万人に留まり、在宅就労・テレワーク・短時間勤務など多様な働き方のニーズが増大する一方、障害を持つ方々の雇用が十分に進んでいない現状があります。

かかる状況を踏まえ、就労を希望する障害を持つ方々への訓練・就職支援・就職後サポートを実施するべく、就労移行支援事業に参入いたしました。同事業においても「社会で活躍できる人づくり」に全力で取り組んでまいります。

※ 厚生労働省『障害者の就労支援対策の状況』



ライラ (like a rainbow) とは
 「虹のように色とりどりの個性を持つ人たちが関わり合い、成長し、活躍できるように」という願いと、「社会との架け橋(虹)になりたい」という想いが込められています。

その他

あらゆる「個性」を「強み」に変え、それぞれが持つ「色」を最大限に輝かせる

どんな職種においても必要とされる社会人としての資質を身につけながら、一人ひとりの個性・特性を発揮できる就労先を共にプランニングします。就職までの道のりを4つのコースに分けて学び、自分に合った就職プランの実現を目指します。



1. 事業概要
2. 第2四半期トピックス
- 3. 第2四半期業績**
4. 株主還元
5. 補足資料

連結

通信制高校事業が引き続き順調に推移、学習塾事業の利益率改善

学習塾事業

業務効率の改善、賃借料、広告宣伝費の適正化など、効果的な経費執行を継続

高校・キャリア支援事業

通信制高校の生徒数が引き続き順調に増加、日本語学校は入国制限の影響あり

その他

能力開発事業の受講生数増、ランゲージサービス事業のインバウンド需要減

単位：百万円

	2020年3月期2Q累計	2021年3月期2Q累計	2022年3月期2Q累計	前年同期比	
連結	売上高	8,260	7,225	8,225	113.8%
	売上総利益	2,202	1,714	2,880	167.9%
	営業利益	156	△380	758	—
	経常利益	209	△296	832	—
	純利益	38	△290	488	—
学習塾事業	売上高	3,612	2,955	3,387	114.6%
	営業利益	294	△5	565	—
高校・キャリア支援事業	売上高	3,027	2,865	3,413	119.1%
	営業利益	571	478	1,008	210.9%
その他事業	売上高	1,620	1,403	1,424	101.5%
	営業利益	22	△34	△36	—

◆ セグメント利益又は損失（△）の調整額として、△778百万円を計上しております。これは主に、各報告セグメントに配分していない全社費用となります。

コロナ禍の影響を受けた前期から順調に回復しております。

単位：百万円

	2020年3月期				2021年3月期				当期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前期2Q対比
売上高	3,774	4,485	4,670	4,661	3,372	3,852	4,405	4,647	3,865	4,359	113.1%
売上原価	3,057	2,999	2,919	3,062	2,831	2,678	2,648	2,923	2,665	2,680	100.0%
売上総利益	716	1,485	1,751	1,599	540	1,174	1,756	1,723	1,200	1,679	143.0%
販売管理費	1,030	1,015	1,024	1,073	1,071	1,023	977	1,012	1,144	976	95.4%
営業利益	△313	470	726	525	△530	150	779	711	56	702	467.3%
経常利益	△275	484	752	510	△491	195	880	747	103	728	373.4%
純利益	△262	301	474	△188	△379	89	587	278	16	471	526.1%

<会計方針の変更について>

収益認識に関する会計基準等の適用に伴い、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用したことによる影響額を当期実績に加減しております。詳細については、P.17をご参照下さい。

持続的にキャッシュを創出し、安定した財務体質を堅持しております。

単位：百万円

	2020年3月期				2021年3月期				当期		
	1Q	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q	2Q累計	対前期4Q増減
流動資産	5,522	4,857	5,568	7,944	5,838	5,331	7,176	8,240	7,509	7,273	△966
現金及び預金	4,655	4,018	4,172	6,899	4,985	4,533	5,832	7,191	6,709	6,457	△734
受取手形及び売掛金	336	290	302	267	285	249	242	238	265	249	10
授業料等未収入金	45	63	558	280	72	58	485	289	36	48	△241
固定資産	7,211	7,379	7,332	6,857	7,120	7,138	6,919	6,502	7,140	7,076	574
資産合計	12,733	12,237	12,900	14,801	12,959	12,469	14,096	14,742	14,649	14,349	△392
流動負債	5,866	5,047	5,496	7,766	6,418	5,767	6,845	7,215	7,429	6,654	△560
短期借入金	700	700	700	1,100	1,100	1,200	1,100	100	600	600	500
前受金	3,522	2,807	2,960	4,733	3,668	2,907	3,663	5,400	5,088	4,200	△1,200
固定負債	2,233	2,244	2,197	2,134	2,096	2,156	2,182	2,178	2,594	2,567	388
長期借入金	263	252	230	209	184	246	267	240	613	574	333
株主資本	4,277	4,598	4,991	4,803	4,328	4,430	4,961	5,121	4,399	4,883	△238
利益剰余金	1,879	2,180	2,597	2,409	1,934	2,024	2,554	2,714	1,992	2,464	△250

営業キャッシュフローが前期から改善しております。

単位：百万円

	2020年3月期		2021年3月期		当期	
	2Q累計	4Q累計	2Q累計	4Q累計	2Q累計	対前期2Q増減
営業活動によるキャッシュフロー	△1,337	1,862	△1,992	1,807	△936	1,055
投資活動によるキャッシュフロー	△487	△856	△389	△348	△613	△224
財務活動によるキャッシュフロー	426	475	15	△1,166	816	801
現金及び現金同等物の期末残高	3,899	6,780	4,414	7,072	6,338	1,923

<当第二四半期連結累計期間における主な要因>

単位：百万円

営業活動によるキャッシュフロー

・ 税金等調整前当期純利益	835
・ 減価償却費	195
・ その他の負債の増減額（△は減少）	193
・ 売上債権の増減額（△は減少）	123
・ 仕入債務の増減額（△は減少）	△150
・ 法人税等の支払額	△206
・ 契約負債の増減額（△は減少）	△2,016

投資活動によるキャッシュフロー

・ 保険積立金の積立による支出	△129
・ 有形固定資産の取得による支出	△150
・ 連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△288

財務活動によるキャッシュフロー

・ 短期借入れによる収入	900
・ 長期借入れによる収入	500
・ 短期借入金の返済による支出	△400

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、従来は入会金等について一時点で収益を認識しておりましたが、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識する方法に変更しております。また、顧客との約束が財又はサービスを他の当事者によって提供されるように手配する履行義務である場合には、代理人として純額で収益を認識する方法に変更いたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、**当第2四半期連結累計期間の売上高は121百万円増加し、売上原価は76百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ198百万円増加**しております。また、**利益剰余金の当期首残高は642百万円減少**しております。

1. 事業概要
2. 第2四半期トピックス
3. 第2四半期業績
- 4. 株主還元**
5. 補足資料

当社は株主の皆様に対する利益還元を最重要課題のひとつと考えております。

利益配分の基本方針としましては、将来における企業成長と経営環境の変化に対応するための投資や強固な財務体質構築に資する内部留保金を確保しつつ、継続的な配当による株主の皆様への利益還元を積極的に行い、安定配当に主眼をおいた考え方を取っております。

当期の1株当たり配当金につきましては、増収増益での通期見通しに加えまして、前期創業45周年の節目でもあったことから、2円増配とさせて頂き、年間1株当たり18円の普通配当（うち、中間配当6円 期末配当12円）を予定しております。

期	年度	1株あたり配当金 (円)	純資産配当率 (%)	期末終値株価 (円)
43期	2019.03	16.00	3.4	406
44期	2020.03	16.00	3.3	506
45期	2021.03	16.00	3.1	522
46期予想	2022.03	18.00	-	-

1. 事業概要
2. 第2四半期トピックス
3. 第2四半期業績
4. 株主還元
- 5. 補足資料**

◆ 成長を加速させるプラス思考の学習メソッド

近畿圏を中心に展開する「第一ゼミナール」をはじめ、幼児から高校生までを対象とする進学受験指導・教科学習指導などを行っています。

「目標は志望校合格!目的は社会で活躍できる人づくり!!」を創業当初より掲げ、生徒の“前向きに学ぶ意欲”を引き出すことを重視しています。

進学塾として、「成績向上と志望校合格」に全力を注ぐのは当然のこととして、それにとどまらない、生徒一人ひとりの未来を見据えた指導を推進してまいります。



生涯“学び続ける礎”を身につける

受験勉強を単なる詰め込みで終わらせず、将来に生きる「自ら意欲的に考え、学ぶ力」、ひいては異文化理解や多文化共生といった、これからの社会で増々必要となる力の源泉を育くむ機会と位置づけ、社会で活躍できる人づくりを推進します。

独自の意欲喚起教育

創業以来培ってきた意欲喚起教育を更に進化させ、「社会」や「将来」について知り、未来を「自分ごと」としてとらえ、「将来に向けて、今何を学ぶべきか」という「自己理解」を深めることで、学習意欲の向上につなげていきます。

プラスサイクル学習法

当社40年間の指導経験に、最新の脳科学の研究成果を活かした第一ゼミナール独自の教育プログラムです。生徒自身のやる気を引き出して継続させることで、塾でも学校でも家庭でも、主体的に学習に取り組む姿勢を育みます。

「これからも伸び続ける」学び方を育み、未来を切り拓く力を育成しています。

自立型・個別最適化学習PLS (Positive Learning System)

予測困難な時代においても活躍できる人材に、どう育っていただくか。私たちは、自ら考えて主体的に学び続け、学びの成果を人に伝えていく力が重要だという想いに至りました。

PLSでは、生徒が自分で考えるとともに、節目で教員や先輩と対話することによって、学びを深めることを重視しています。この過程を経ることで、思考力や次の自発的な意欲が引き出されることを、長年の経験で確信しているからです。

学びに向かい、伸び続ける力を効果的に育むためにも、集団指導と個別指導それぞれのメリットを活かした、新しい指導スタイルを取り入れています。

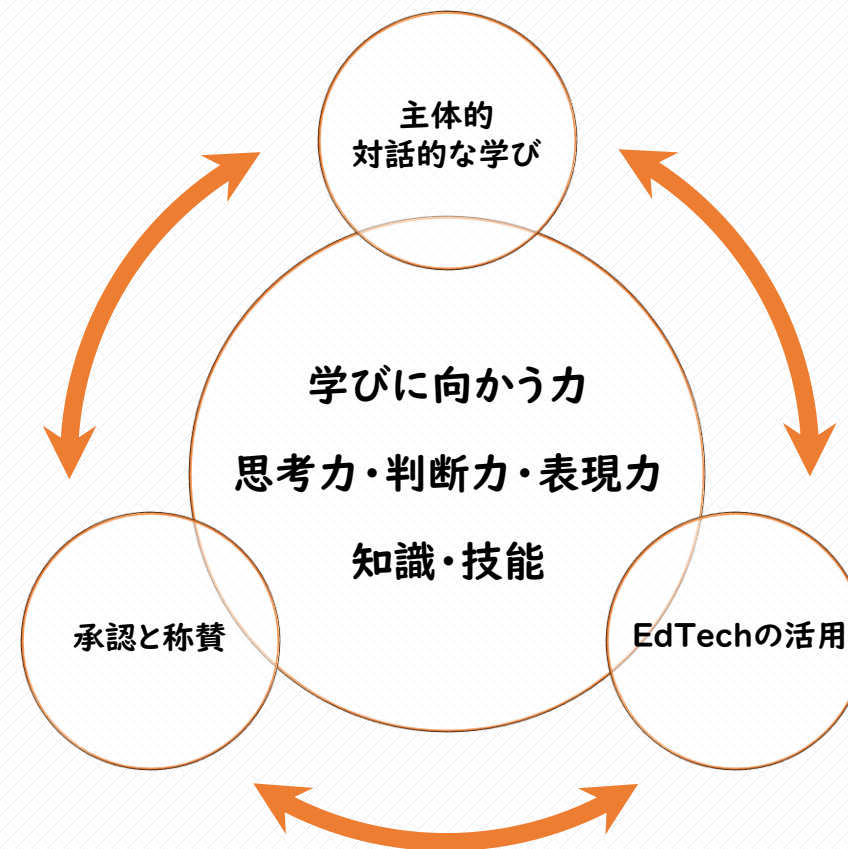
集団指導のメリット

- 仲間と一緒に学ぶ
- 対話を通じて学びを深める
- 競い合い、励まし合う関係性
- 他者からの刺激による意欲の向上

×

個別指導のメリット

- 自分の理解度に応じた学習計画
- 自分のペースで進められる
- 質問がしやすく、理解が進みやすい
- 個々の状況に合わせた時間割設定



学齢に応じて、実践力の育成プログラムを体系的に設計しています。

骨太な実践力を育むために

意欲と学び方に加え、言語能力、思考力・判断力・表現力などの学習プログラムによって、一人ひとりの実践力を高めていきます。これらの力の育成によって、教科学力を向上させています。

ことばの学校（小学生）

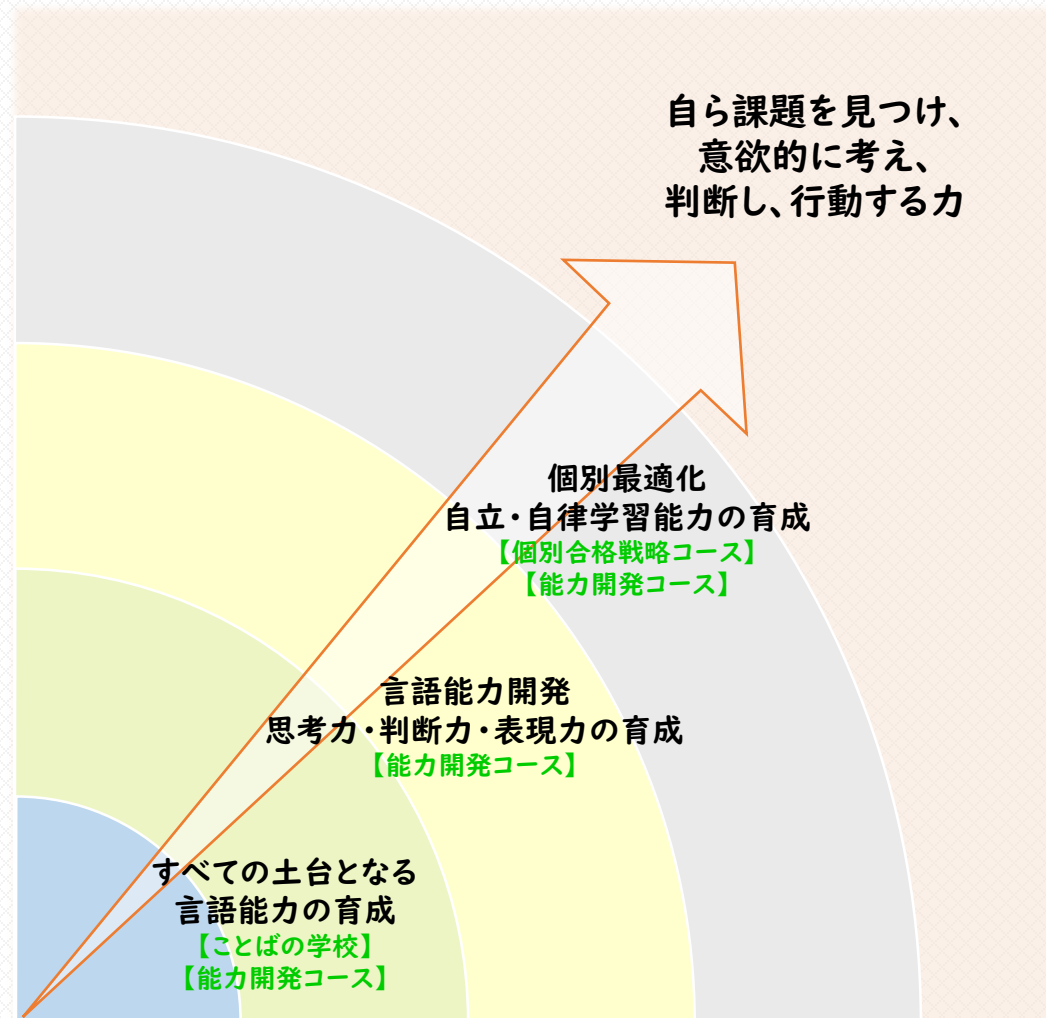
- 全ての学習の基盤となる「言語能力」に特化して育成
- 厳選された良書の多読と読書ワークの作成
- ことばの運用を生きた表現から学ぶ

能力開発コース（小学生～高校生）

- 「読解力」「思考力」「速読力」を中心に同時複合的に育成
- 入試で求められる、主旨を速く正確に読み解く力を鍛える

個別合格戦略コース（中学生～高校生）

- ICTを活用して、一人ひとりの志望校合格に特化した個別戦略を作成
- 塾だけでなく、家庭学習でのサポートも行い、自立した学習を促進
- 学力・学習状況を踏まえ、志望校合格への学習を焦点化



◆ 夢や目標をさらなる成長のエネルギーに

通信制高校「第一学院高等学校」の運営や、社会人を対象とした各種資格・スキル取得に向けた支援、海外からの留学生を対象にした日本語教育サービスなどを行っています。

第一学院高等学校では、独自のICT教育を推進しており、全生徒を対象にタブレットを使用し、映像・音声による授業配信とともに、レポート作成・提出・進捗管理を一体的に行っております。



成長実感型教育

生徒が日々の生活で感じた個々の「成長実感」を大切に、その「成長実感」を自信に変えてさらなるチャレンジができるよう、生徒・保護者・学校一体となった取り組みを行っています。

コミュニティ共育

地域全体を「学校」と捉えて、学校の先生だけではなく、たくさんの大人から社会について学ぶ機会を作っています。コミュニティ共育を通じて、自身の将来像を考えるきっかけをつくりま

ハイブリッド型教育

自宅や外出先からオンラインで授業に参加したり、自分の目標や生活スタイルに合わせた学びを進めることができます。自分にあった学び方を組み合わせることで、学ぶ意欲の持続・向上につながります。

通信制高校の特色を活かした、多彩なコースを展開しています。

第一学院高等学校では、一人ひとりの状況や興味・関心、目指す進路・目標に合わせて、様々な学びを選択できます。自分に合ったスクールライフで、高校卒業・高卒資格取得、そして、希望進路が実現できるよう、生徒一人ひとりを支援しています。

<通学型>

標準コース、特別進学コース、総合コース、高大一貫コース、特化コース、芸能コース、スポーツコース、eスポーツコース、美容コース、ペットコース、本校通学コース など

<通信型>

Mobile HighSchool (通信コース)



EdTechによって取り組みを進化させ、学びの効果性を更に向上させています。

ハイブリッド型教育

オンラインとオフライン(リアルな集い)のそれぞれを生かして、一人ひとりに合わせた主体的な学び、生徒同士や地域との共創を推進し、生徒の成長実感を上します。

オフライン

(キャンパス・地域での学び)

- 地域社会の多くの大人から学ぶ
- 自分らしい居場所
- 仲間との協力でチームワークを築く
- 達成感・感動の共有

オンライン

(自分に合わせた主体的な学び)
(リアルタイムでつながる学び)

- キャンパスを越えた双方向での学び
- イベント・サークルも全国でつながる
- 自分の理解度に合わせて学ぶ
- 生活リズムに合わせて学ぶ



成長の可視化

生活面や学習面での自分の「今」をアプリに記録し“見える化”することで、本人はもちろん友人や保護者も生徒本人の成長を知る・感じることができ、その成長を共有することで、飛躍的な成長に繋がります。

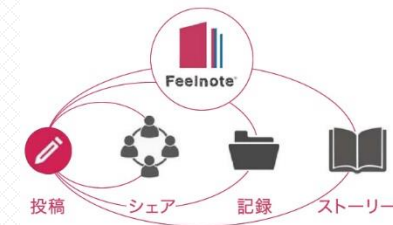
成長度MAP®アプリ

- 第一学院オリジナルアプリ
- 生活面や学習面の「今」を“見える化”
- 他者も本人の成長を知る・感じることができる



Feelnote※

- 学んだ証と課外活動での成果物などを記録
- 教員から活動の記録に随時フィードバック



※FeelnoteはSNS型ポートフォリオ作成支援システムです。世界標準の入試プラットフォーム「Universal College Application」にも接続、大学受験にも活用可能です。

◆生涯に渡って、成長と幸せの実現をご支援します

ICT教育、能力開発、ランゲージサービス、幼児・学童英語、社会人教育、介護サービス、アンガーマネジメントの企業研修、就労移行支援など、幼児からシニアまでライフステージにあわせた学びの環境を幅広くご用意しています。

「教育は人の幸せに寄与すべき」という一貫した理念のもと、多彩な事業を展開するグループ会社とのシナジー効果を最大限に発揮します。



幼児・学童英語事業
英語で学ぶ。英語をみかく。

ICT教育・能力開発事業

企業内研修ポータルサイト事業

株式会社レビックグローバル

ランゲージサービス事業

For Better Communication

広告事業

ヘルスケア事業

e-life

ICT教育・能力開発事業

小学生から社会人まで幅広く、ICT教育ソリューションを提供。

自立学習型能力開発プラットフォーム「TERRACE」等を制作・販売しています。講座の一つである「速読解・思考力講座」は、全国の学習塾や学校等、約2,200教室で導入されています。

速読解・思考力講座

- 全体把握力・思考力・理解力・記憶力・検索力を鍛える
- 全国20,000人の受講生とオンラインでランキングを競い合える

速読聴英語講座

- 全国1,300教室で導入
- スピード強化と同時に、リーディングとリスニング力を向上させる



企業内研修ポータルサイト事業

社員研修、営業研修等の法人向けオンライン教育サービスを提供。

メガバンクやメガ損保、大手自動車メーカーなどの大企業を中心に、現在に至るまで1,000社以上のお客様とお取引をさせて頂いております。

社内教育システム構築サービス

- 多言語対応のLMSの開発・販売を行い、社内教育・研修を最適化
- 導入事例は200社以上、月間アクティブユーザーは50万名を突破

eラーニング教材の開発・提供

- 新人研修から管理者向けの教材まで幅広くラインナップ
- 各種業種・業態7,000テーマに対応



ランゲージサービス事業

世界90言語に対応した外国語人材サービスのエキスパート。

通訳・翻訳業務等を手掛けるとともに、語学力の高いスペシャリストを派遣し、語学教育や社内通訳等の高度人材サービスを展開しております。

通訳・翻訳

- 会議、セミナーや放送の同時通訳、商談、観光案内等の逐次通訳から、同時通訳機器の手配など

人材派遣・紹介

- 社内通訳・翻訳、受付、秘書、一般事務のほか、高度なスキルと経験を備えた人材まで幅広く対応

アテンダント派遣

- ホスピタリティと国際感覚を兼ね備えたアテンダントが各種会合・イベントを華やかに演出



幼児・学童英語事業

幼児から小学生まで。英語で学び、英語をみかく。

登校した瞬間から帰宅までの間、外国の先生とコミュニケーション能力を高めていきます。遊びや生活の全てを英語で行うイマージョン教育により、自然なかたちで英語を身につけます。

アフタースクール 放課後英語学童で学ぶ

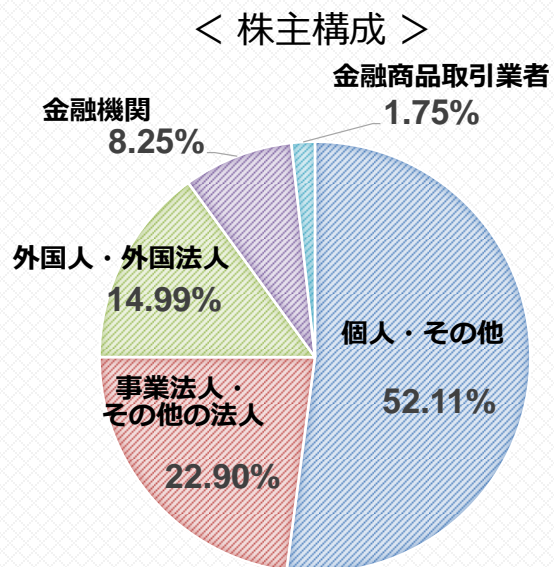
- 英語4技能スキルやコミュニケーション能力を育む
- イマージョン教育やオリジナルカリキュラムで世界の文化を学ぶ

プリスクール 幼稚園、習い事として英語で学ぶ

- 英語圏の子ども達が言葉を学ぶのと同じように、遊びや生活の中で英語を使う



会社名	株式会社ウィザス (With us Corporation)
設立	1976年7月10日
資本金	1,299百万円
本社所在地	大阪府中央区備後町3丁目6番2号 KFセンタービル
従業員数	832名 (男: 571名 女: 261名) ※2021年9月末現在 (連結)
上場市場	東証JASDAQ (スタンダード)
発行済み株式数	10,440,000株 ※2021年9月末現在



(注1) 上記は持ち株比率で表記しております。
 (注2) その他には自己株式を含んでおります。

株主名 (2021年9月末)	所有株式数 (千株)	議決権比率
1 株式会社ヒントアンドヒット	993,000	10.38%
2 堀川 直人	468,200	4.89%
3 堀川 明人	466,000	4.87%
4 ウィザス社員持株会	461,029	4.82%
5 BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	423,046	4.42%
6 MSIP CLIENT SECURITIES	340,600	3.56%
7 NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	332,100	3.47%
8 株式会社学研ホールディングス	300,000	3.14%
9 日本生命保険相互会社	299,000	3.13%
10 株式会社明光ネットワークジャパン	267,900	2.80%

(注1) 上記のほか、自己株式が873千株あります。
 (注2) 議決権比率は自己株式を控除して計算しております。

“社会で活躍できる人づくり”を実現できる最高の教育機関を目指す

<本資料の取り扱いについて>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせは、以下の宛先までお願い致します。

株式会社ウィザス 経営戦略本部

<TEL> 06-6264-4205

<MAIL> webmaster@with-us.co.jp